

空港機能強化案 すべての説明会で激しい反発

さらに強い意思表示を

横芝光町中台で「断固反対」の看板立つ



中台区の5カ所に看板
上は中台三差路。下は共同利用施設前

昨年10月から始まった空港機能強化案の説明会すべてで、激しい住民の反発がありました。しかし、NAAは「対話型説明会」なるものを行うことをもって、「丁寧な説明」のアリバイにしようとしています。住民の反対表明は「ガス抜き」に利用し、「成田空港問題に関する4者協議会」（国、NAA、県、地元市町）の開催～承認を狙っているのです。怒りを持つ住民は、今こそ強い意思表示を行うべきです。2月上旬、横芝光町の中台区で「断固反対」「離着陸制限の厳格運用」の看板が5カ所に立てられました。さまざまな手段でさらに強い反対の意思表示を続けましょう。反対同盟は空港機能強化とりわけ20時間飛行に反対する先頭に立ちともに闘います。

「ガス抜き」→4者協の承認狙うNAA許すな

2・25 田中正造に学ぶ「檻樓の旗」上映会へ

●2月25日(土) 午後2時 芝山町飯櫃 「やすらぎの里」=無料
★上映実行委員会主催ですが反対同盟も呼びかけます。(連絡先tel 070-1245-0620)

3・2市東さん「請求異議裁判」デモ

3月2日(木) 午前9時 千葉市中央公園・デモ 10時30分 地裁弁論

2・14「審尋」闘争を闘う 強制執行停止で仮処分決定

「最高裁判決を執行させない闘い」は可能

2月14日、千葉地裁民事第5部で市東孝雄さんの畑への強制執行に対する「執行停止申立」の審尋が開かれ、本裁判である「請求意義裁判」（3月2日弁論）の判決確定まで強制執行を停止する決定をかちとりました。

まず、午前9時から労農学市民70人が結集して地裁までのデモ行進を行いました（写真）。午前10時30分からの3誘導路裁判の後、11時50分、審尋（非公開）が開始されました。ところが審尋の場に現れたのは鹿子木康裁判長ではなく高瀬順久裁判長。最高裁による露骨な首のすげかえです。

これに対して、葉山岳夫弁護士を先頭に弁護団、そして市東さん、萩原富夫さんが、昨年10月の最高裁決定の違憲・違法・不当をおよび市東さんの権利の正当性を訴え、強制執行を停止すべきことを強く



主張しました。これらの正義と迫力に圧倒された高瀬裁判長は、審尋を終了した後、「保証金200万円を納付することを条件に、執行停止する」旨連絡してきました。とりあえずの勝利ですが、切迫した事態は変わりません。3・2弁論闘争を成功させましょう。

強制執行を
停止させる 緊急カンパの送り先

<郵便振替> 00130-0-562987

三里塚芝山連合空港反対同盟

<銀行口座> みずほ銀行成田支店

普通預金2074135 イトウノブハル

保証金（200万円）の緊急カンパ訴えます

「共謀罪」に 反対しよう



でたらめな答弁をする金田法相

現代の治安維持法狙う安倍政権打倒

2月16日
で行われた
予想を上回る
反対の勉強会



共謀罪は、実行行為がなくても「2人以上が話し合った」と当局が認定しただけで弾圧できる「現代の治安維持法」です。そのため今まで3度も提出されながら、激しい反対で廃案になってきました。金田勝年法務大臣や安倍首相は、「一般の市

民は対象にならない」などとみえすいたウソを言っていました。戦前の治安維持法が制定された時の政府答弁がまったく同じでした。その結果、政党のみならず俳句のサークルまでが弾圧されました。

そして2月16日、その答弁すら変更されました。「一般人が作る団体でも性質が変われば共謀罪の対象になる」との統一見解を法務省が出したのです。同日、国会内で行われた勉強会には予想を上回る250人が参加、大学教授ら11人が、国会提出に反対する意見表明を行いました。同日ペンクラブ（会長＝作家浅田次郎）も反対の決議を発表しました。共謀罪は安倍政権の戦争政策と一体となった反戦運動つぶしです。断固反対しよう。

三里塚闘争50年 関西集会に250人

2月12日、大阪の港区民センターで「国策とたたかう農民・農地を守ろう！ アベ政治を許さない！ 三里塚闘争50年にさいして」集会が行われ、三里塚から市東孝雄さん、萩原富夫さんが参加し、あいさつしました（写真）。集会では山形県の農民が講演。労働組合、市民団体、被爆者、沖縄、福島などから幅広い



人びと250人が参加し、三里塚闘争50年の意義を確認し成功しました。

地域住民の声

成田～芝山～多古～ 横芝光

今回は横芝光町、多古町の住民から意見を聞きました。説明会での反対の意見表明をへて、次の行動を望む声が寄せられました。

◆「20時間飛行」の提案自体がふざけてる

横芝光町 農業（男性）

今回の「朝5時から夜中の1時まで飛ばせろ」という提案は、提案自体がふざけている。4年前、いわゆる「カーフェー」の緩和の時は、朝1時間、夜1時間の延長を提案してきて、住民の反対で朝の方は撤回した。その提案の中身は「やむをえない時だけ例外で」「その場合でも航空会社にペナルティーを科して罰金を取る」「深夜便飛行が連続する航空会社に対しては、以後禁止させる」な

どの条件付きの提案だった。それでも住民の反対で、朝の1時間は撤回した。そういう低姿勢のやり方だった。

ところが、今回の提案はなんだ。そんな制限は一切なしで、「20時間飛びたいだけ飛ばせろ」という話じゃないか。冗談じゃない。住民をなめるのもいいかげんにしろという気持ちだ。何か具体的な行動を考えなければいけないんじゃないかな。

◆騒音を拡大する提案に反対しない人いない

多古町 主婦

10年前に引っ越して来ました。頭の上を飛行機が飛ぶのは分かっていたんですが、こんなにはひどくなかった。それが6年ほど前から飛行の回数がどんどん増えて、だんだん耐えられない騒音になった。今度は朝の5時から夜中の1時まで飛ばそうというんでしょ。説明会に出た人の話でも、NAAは相変わらず、「法律がないからできない」、「検討しないと答えられない」、「ご意見はうけたまわります」など住民無視の姿勢は変わっていない。怒らない住民はいませんよ。何か、手だてを考えないとね。

とめよう戦争への道！百万人署名運動の仲間が来訪

市東さん、萩原さんと交流する百万人署名運動の仲間（市東さん宅離れ）



2月2日、「とめよう戦争への道！百万人署名運動」の仲間5人が第3滑走路予定地の現地調査と反対同盟との交流のため、三里塚現地を訪れました。「天神峰の市東さん宅にかけつけることが強制執行を阻む力になる」との呼びかけに答えてくれました。